



公益社団法人 日本武術太極拳連盟

JAPAN WUSHU TAIJIQUAN FEDERATION

〒132-0025 東京都江戸川区松江1-9-15
TEL 03-6231-4911 FAX 03-6231-4955
1-9-15, Matsue, Edogawa-ku, Tokyo JAPAN
<https://www.jwtf.or.jp/> E-mail: jwtf@jwtf.or.jp



総発第3798号
2023年2月15日

都道府県連盟代表 各位
審判委員会 各位

公益社団法人日本武術太極拳連盟
審判委員会委員長 及川 佳織

**2019年版国際武術競技規則 および 新国際ルール補助ルール (2023) 資料送付、
全日本選手権大会とねりんピックの変更点のご案内**

拝啓 時下ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

審判委員会では、新ルールへの対応を進めるにあたり、2023年第31回JOCジュニアオリンピックカップ武術太極拳競技大会から採用する2019年版国際武術競技規則と、2024年第41回全日本武術太極拳選手権大会から採用する新国際ルール補助ルール(2023)を作成し、皆さまに送付する準備が整いましたのでお知らせします。

また、第123回理事会で承認された第41回全日本武術太極拳選手権大会とねりんピックの変更点について、ご案内いたします。お手数をおかけしますが、大会担当者や審判委員会担当者など関係する各所へご共有ください。

ご多忙の折と存じますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

敬具

記

1. JOC ジュニアオリンピックカップ 競技規則・動作名称表送付について

すでにご案内したとおり、2023年度に実施される第31回JOCジュニアオリンピックカップ武術太極拳競技大会から、2019年版国際武術競技規則を採用します。

これにあたり、2022年度に全国5箇所で開催し、関連資料を配付しました。

その後、資料の不備が発見されたことと、日本のジュニア大会で採用するにあたり、国際ルールでは尽くされていない部分があることから、一部の内容を改訂し、各都道府県連盟にお送りすることになりました。

説明会に参加された方には今回お送りする最新版を使用していただきたく存じます。また参加されなかった方にルールを周知していただくためにもご活用ください。

なお、説明会でもお話ししたように、コロナ禍の影響で2019年ルールによる国際大会がまだあまり開催されておらず、ルールの解釈・運用について不明な点があります。状況により、細かい点で変更を余儀なくされる可能性がありますので、今後の情報にもご注意ください。

2. 全日本種目変更と補助ルール(2023)送付、ねんりんピック打点方法変更について

去る第123回理事会において、2024年第41回全日本選手権からの種目変更が承認されました。詳細は下記をご参照ください。

今回の種目変更等をふまえて、「武術太極拳 新国際ルール 補助ルール (2023)」を作成しましたので送付します。

- 1) 全日本選手権で新ルールが採用されたことに伴い、従来、旧ルールと並行する形で使用していた「国体ルール (第7版)」を廃止し、必要事項を「補助ルール (2023)」に盛り込みました。
- 2) 「補助ルール (2023)」は、各都道府県の予選では2023年度から使用可能です。全日本選手権では2024年第41回大会から、国体では2024年滋賀大会から使用します。2023年第40回全日本選手権、2023年鹿児島国体では「補助ルール (2020)」を使用します。
- 3) すでにご案内の通り、JOCジュニアオリンピックカップ武術太極拳競技は予選・全国大会ともに「2019年版 武術套路競技規則 (JOCジュニアオリンピックカップ武術太極拳競技規則)」を使用します。「補助ルール (2023)」は使用しません。

また同理事会において、ねんりんピックについて2024年鳥取大会からの打点方法の一部変更が承認されましたので合わせてお知らせします。今回は打点方法の変更のみで、採点基準に変更はありません。

予選については、各都道府県の状況に合わせ、新しい打点方法を使用しても、使用しなくてもかまいません。

○ 全日本選手権の種目変更について

2024年第41回から、全日本選手権の種目を以下のように変更します。

[a] 自選難度競技部門

1. 自選太極拳
2. 自選太極剣
3. 自選南拳
4. 自選南拳短器械
5. 自選南拳長器械
6. 自選長拳
7. 自選長拳短器械
8. 自選長拳長器械

[b] 規定競技部門

9. 総合太極拳 AB
10. 総合太極拳 C
11. 24式太極拳 A
12. 24式太極拳 B
13. 24式太極拳 C
14. ジュニア太極拳 3
15. ジュニア太極拳 2
16. 32式・42式太極剣
17. 長拳 O(OVER)14
18. 長拳 U(UNDER)13
19. 剣術
20. 刀術
21. 槍術
22. 棍術
23. 南拳
24. 南刀
25. 南棍

[c] 自選競技部門

26. 自選太極剣・刀
27. 48式・88式太極拳
28. 楊式太極拳
29. 陳式太極拳
30. 吳式太極拳
31. 孫式太極拳

[d] 伝統競技部門

32. 伝統拳術 A
33. 伝統拳術 B
34. 伝統拳術 C
35. 伝統器械

[e] 団体競技部門

36. 対練
37. 集団
38. 太極拳推手
39. ペア総合太極拳(自選)

変更に関する詳細

1) 16. 32式・42式太極剣と26. 自選太極剣・刀について

- ・都道府県の代表は男女ともそれぞれ2種目で2名とし、16.と26.の配分は自由。すなわち、16. 32式・42式太極剣に2名、26. 自選太極剣・刀に2名、それぞれ1名ずつのいずれも可。
- ・26. 自選太極剣・刀は32式・42式太極剣以外の太極剣・刀から自選する。32式・42式太極剣の一部の動作のみを変更して自選とすることは不可。

2) 38. 太極拳推手と39. ペア総合太極拳(自選)について

- ・都道府県の代表は、この2種目のうち1種目のみに参加できる。したがって、都道府県から[e]団体競技部門に参加するのは36. 対練1チーム、37. 集団1チーム、38. 太極拳推手または39. ペア総合太極拳(自選)のどちらかに1チームの合計3チームとなる。

3) 39. ペア総合太極拳(自選)の規定

- ・総合太極拳から自選し、2人で演技する。
- ・演技時間：3分以上4分以内。
- ・必選動作：①分脚または蹬脚 ②拍脚または擺蓮 ③仆歩(単鞭下勢または穿掌下勢) ④発勁動作(掩手肱捶または馬步靠)の4種の動作を1人につきそれぞれ最低1回行うこと。
※甲・乙の選手が別々の必選動作を行ってもよい。
例) ②の動作の選択方法 甲の選手が拍脚 乙の選手が擺蓮でも可とする
- ・動作中の選手間のコンタクト動作(接触動作)は不可(推手や対練のような選手同士の身体が接触する動作は不可とする)。

4) 27. 48式・88式太極拳について

昨年の理事会にて、この種目を[b]規定競技部門に含めることを検討すると報告したが、元の套路は規定であっても競技における演技は自選で行うことから、これまで通り[c]自選競技部門に含めるのが適当との結論になった。先の提案を撤回し、上記の区分とする。

○ ねんりんピックの打点方法について

「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」大会より、競技の打点方法の一部を変更します。

1) 審判の位置を、コート周囲に点在する形式からコート前方に並ぶ形式に変更する。

理由：ねんりんピックでは演技中に隊列を変えることが認められ、隊列変更の技術と表現が採点の重要な要素である。各チームはコート前方(審判長側)に見る人を想定して隊列を作っているが、現在の形式では、いずれの審判もそれを正面から見るができない。適切な評価をするために、前方に並ぶ形式がふさわしいと思われる。

2) 各審判の打点を従来の0.05点きざみから、0.01点きざみに変更する。

理由：ねんりんピックには50チーム以上が参加し、実力が拮抗していることから、打ち分けが難しく、同点が多くなっている。0.01点きざみで打点することにより、執行審判の打点の自由度が上がってより判定がしやすくなり、同点を減らすことができる。

同封書類：各資料につき3部(コピー用1部、サンプル2部) ※ 審判委員会委員は各1部

- ・「2019年版武術套路競技規則(JOC ジュニアオリンピックカップ武術太極拳競技規則)」
- ・「JOC ジュニアオリンピックカップ 武術太極拳競技種目動作名称表」(参考資料)
- ・「武術太極拳 新国際ルール補助ルール(2023)」

以上